

江別市の予算

【詳細】 財政課 ☎ 381-1010



令和2年度江別市予算 基本方針

令和2年度は、えべつ未来づくりビジョンの後期5年間の2年次目の年として、基本理念に掲げる「安心して暮らせるまち」「活力のあるまち」「子育て応援のまち」「環境にやさしいまち」の4つの柱と基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方に基つき、予算を編成しました。

特に、「子育て支援」、「教育の充実」に重点を置き、引き続き、人口減少対策を基本に据え、政策を推進します。

予算規模は減少

一般会計の予算は、450億1千万円で、プレミアム付商品券事業や江別の顔づくり事業の終了などにより、前年度の458億2千万円から8億1千万円(1.8%)減少しました。また、特別会計と企業会計を含めた全会計の合計は、864億3176万2千円となり、前年度と比べて12億7514万9千円(1.5%)減少しました。

歳入・歳出の内訳

歳入を前年度と比較すると、固定資産税の増による市税の増加や、地方交付税、地方消費税交付金などの増加が見込まれます。また、市の新規の借入である市債は減少しています。

歳出では、事業の終了に伴い投資的経費が減少する一方、扶助費は引き続き

歳入

【 】内は前年度比
※1万円未満の金額を整理して記載しています

国・道支出金 (27.8%)
124億9,267万円
【+ 6,368万円】
特定の事業に対する国・道からの負担金・補助金など

市税 (28.2%)
126億7,200万円
【+ 5,100万円】
個人市民税、固定資産税、軽自動車税など

使用料・手数料
など (2.2%)
10億732万円
【- 2,716万円】
市民会館などの使用料、ごみ処理手数料など

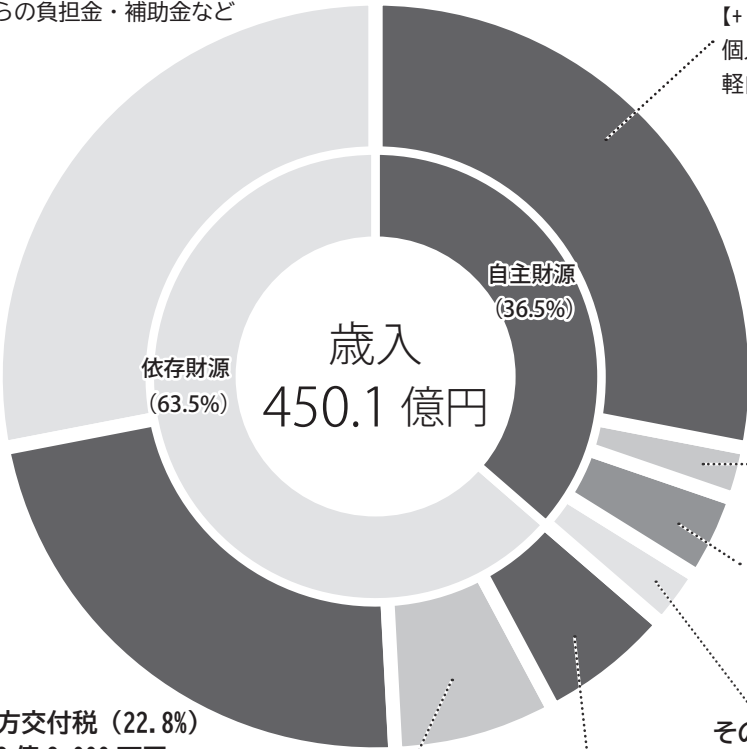
諸収入 (3.7%)
16億5,743万円
【- 10億4,495万円】

その他 (2.4%)
10億9,078万円
【- 1億2,137万円】

市債 (5.8%)
26億1,250万円【- 4億2,220万円】
施設や道路建設などのための借入金

地方消費税交付金など (7.1%)
31億9,730万円【+ 2億3,100万円】
国が徴収した特定の税のうち、一定の基準で地方に配分されるものなど

地方交付税 (22.8%)
102億8,000万円
【+ 4億6,000万円】
一定水準の行政サービスを行うために国から配分される交付金



歳入
450.1億円

歳出

諸支出金・予備費 (13.1%)
58億8,757万円【+1億7,582万円】
特別会計への繰出金など

公債費 (8.1%)
36億4,640万円【-2,453万円】
市の借金(市債)や、その利子の返済

教育費 (5.7%)
25億6,884万円【+2億7,651万円】
学校の管理運営や文化の振興

消防費 (0.6%)
2億8,360万円【+3,477万円】
消防活動や救急活動

土木費 (9.6%)
43億1,362万円【-10億2,592万円】
道路や公営住宅、公園などの整備

農林水産業費 (1.2%)
5億2,549万円【-6,681万円】
農業や畜産業などの振興

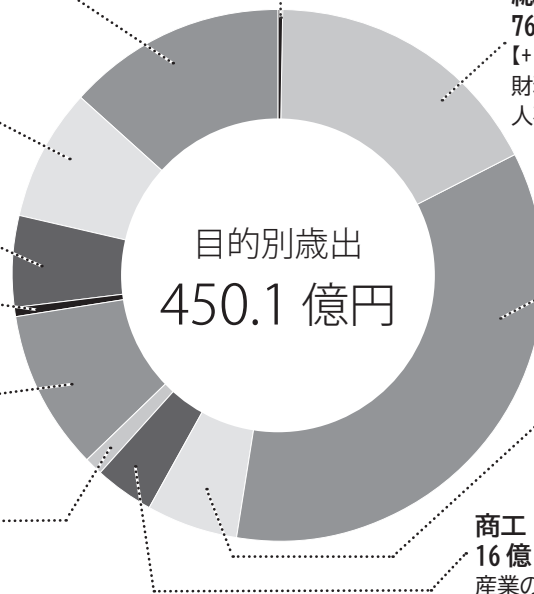
議会費 (0.5%)
2億2,359万円【-636万円】
市議会の運営

総務費 (17.1%)
76億8,990万円
【+5,938万円】
財務や税務、企画、
人事、市民活動など

民生費 (35.0%)
157億2,986万円【-9,350万円】
子どもやお年寄り、障がい者などの福祉

衛生費 (5.5%)
24億8,464万円【+9,258万円】
健康増進や疾病予防、ごみ処理など

商工・労働費 (3.6%)
16億5,649万円【-2億3,194万円】
産業の活性化と雇用の安定



繰出金・その他 (15.8%)
71億390万円【-2,332万円】
特別会計への繰出金など

投資出資・貸付金等 (3.6%)
16億425万円【+7,505万円】
制度融資のための貸付金など

投資的経費 (7.3%)
32億8,529万円【-7億7,108万円】
公共施設や学校、道路などの建設事業

補助費等 (3.6%)
16億4,142万円【-8億7,128万円】
各種団体への補助金など

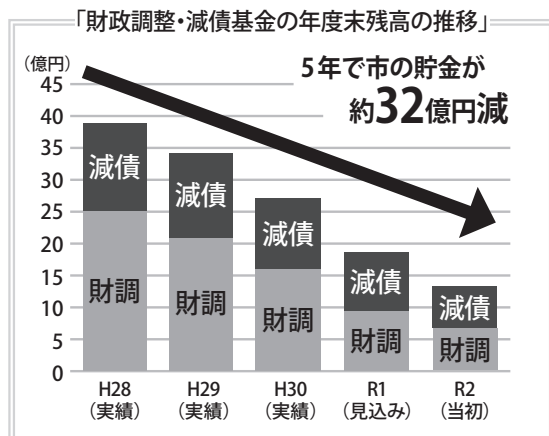
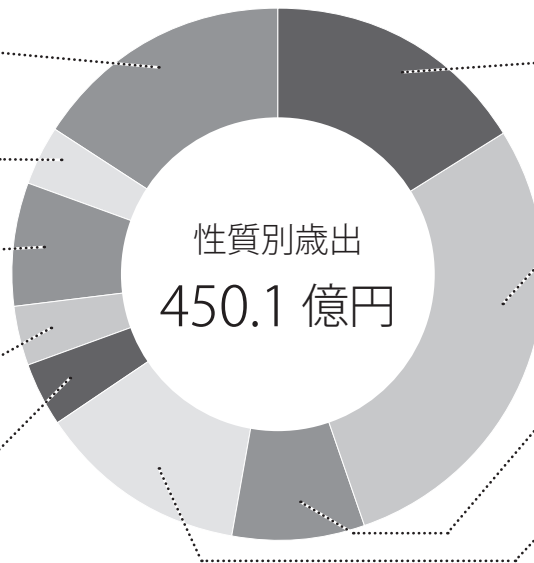
維持補修費 (4.0%)
18億190万円【+1億9,131万円】
公共施設や道路などの修繕、除排雪

人件費 (16.3%)
73億4,762万円【+2億1,996万円】
職員や議員の給与・報酬

扶助費 (28.5%)
128億3,009万円【+5億443万円】
医療費助成や生活保護などの福祉給付

公債費 (8.1%)
36億4,640万円【-2,453万円】
市の借金(市債)や、その利子の返済

物件費 (12.8%)
57億4,913万円【-1億1,054万円】
物品の購入や光熱水費、業務の委託など



基金は減少の見込み

前年度に引き続き財源が不足しているため、市の貯金である基金からの繰入などで不足を補っています。

基金は、大型事業の実施や、災害など不測の事態への備えなど、目的をもって積み立て、活用していますが、基金残高は5年連続で減少する見込みとなっております(左図)。

令和2年度予算では、事業の見直しなどで基金からの繰入を抑制しましたが、市立病院への経営支援などのため、引き続き基金残高の減少が見込まれることから、さらなるコストの縮減などにより、健全な財政の維持に努めます。

き大幅に増加しています。また、会計年度任用職員制度の導入等により人件費が増加しています。

令和2年度

主な事業

令和2年度予算に計上した事業の一部を紹介します。
詳しい事業の内容は、市ホームページ予算概要のページ
から「絵で見る江別市予算案」をご覧ください。



活力のあるまち



観光振興計画推進事業
(市内循環バスによる日帰り周遊観光「えべつぐるっとバス」)

新規 市民文化ホール施設改修事業……	2億8,490万円
新規 江別まちなか仕事プラザ事業……	2,280万円
新規 オリジナル・パラリンピック推進事業…	100万円
観光振興計画推進事業……	838万円
スポーツ合宿誘致推進事業……	283万円



安心して暮らせるまち



地域防災力向上支援事業
(避難所運営訓練)

新規 介護人材養成支援事業……	1,088万円
生涯活躍のまち整備事業……	1,301万円
災害対応物品整備事業……	785万円
健康づくり推進事業……	500万円
地域防災力向上支援事業……	230万円



環境にやさしいまち



環境教育等推進事業
(夏休み環境学校 水辺の自然塾)

新規 環境クリーンセンター基幹的設備改良事業…	900万円
ごみ収集運搬業務委託……	4億73万円
環境教育等推進事業……	336万円
花のある街並みづくり事業……	333万円
野生鳥獣等保護管理事業……	147万円



子育て応援のまち



保育園の地域清掃活動

新規 小中学校 ICT 環境整備事業……	3,807万円
子ども医療費助成事業……	1億8,054万円
放課後児童クラブ運営費補助金……	1億3,513万円
病児・病後児保育事業……	3,464万円
待機児童解消対策事業……	1,815万円

特別会計 244億8,800万円

前年度比 2億3,000万円 増

国民健康保険特別会計……	121億8,500万円
後期高齢者医療特別会計……	17億9,800万円
介護保険特別会計……	103億8,200万円
基本財産基金運用特別会計……	1億2,300万円

企業会計 169億3,376万円

前年度比 6億9,515万円 減

水道事業会計……	37億8,752万円
下水道事業会計……	54億4,988万円
病院事業会計……	76億9,636万円



「江別市立病院の役割とあり方を検討する委員会」からの答申書

経営危機にある市立病院の再建に向けて設置された「江別市立病院の役割とあり方を検討する委員会」では、市立病院が経営悪化と立て直しを繰り返してきた歴史を踏まえて、安定的に医療を提供し続ける体制の確立に向けて、6か月に渡って議論を重ね、令和2年2月5日に答申が提出されました。

答申では、人口減少社会を見据えた医療提供体制の構築に向けて、集中改革期間の3年間に医療の重点化や診療体制の再構築などの抜本的な経営改革を行うべきとされています。

なお、経営形態のあり方に関しては、継続審議が必要と判断され、引き続き調査審議が進められています。

答申を受けて、市の対応は

答申の内容は、市立病院が担うべき医療とそのため診療体制、人員配置の適正化、ガバナンスの強化など、構造的な課題にも具体的な対応を求める提言となっており、市立病院では、答申に基づく3年間（令和2年度～令和4年度）の集中改革期間の中で、医師招聘の体制強化、職員配置の適正化などを着実に実施して、経営再建を実現していく考えです。

また、集中改革期間における市立病院の資金繰りを支援するため、市は期間中の長期貸付金の返済を猶予するとともに、令和2年度において見込まれる資金不足を補うため、2億6千万円の長期貸付金を当初予算に計上しています。

さらに、令和元年度の市立病院の資金繰りは、一時借入金累計額が27億円に達する見込みであり、その返済を支援するため、市は令和元年度3月補正予算で13億円の長期貸付金を計上しました。

令和2年度の予算と前年度（3月補正）の比較増減

区分	令和2年度	令和元年度 (決算見込み)	比較増減
当年度純損益	-5.3億円	-12.5億円	7.2億円
一般会計繰入金	14.3億円	14.1億円	0.2億円
一般会計長期借入金残高	25.4億円	22.8億円	2.6億円
累積欠損金	118.9億円	113.6億円	5.3億円
不良債務残高	12.1億円	12.1億円	0.0億円

区分	令和2年度	令和元年度 (決算見込み)	比較増減	
入院	収益	32.0億円	26.7億円	5.3億円
	患者数	71,540人	61,655人	9,885人
	1日平均患者数	196人	168人	28人
外来	収益	19.1億円	17.4億円	1.7億円
	患者数	147,015人	138,891人	8,124人
	1日平均患者数	605人	576人	29人

答申に基づく具体的取り組み

- 担うべき医療の重点化
 - 5疾病の方向性
 <<がん>>「北海道がん診療連携指定病院」の可能性を検討
 - 5事業の方向性
 <<救急医療>>輪番制構築に向け、関係機関との連携を強化
 - 診療科の方向性
 精神科、皮膚科を縮小
 - 病床規模の方向性
 稼働に合わせた病床規模の適正化と弾力的運用
 精神病床の段階的縮小
- 診療体制の確立
 - 診療体制の明確化
 内科診療体制の構築
 職員定数の適正化（看護職及び医療技術職）
 - 医師招聘に向けた体制の強化
 医師招聘を担う専任部門を設置
 専門医招聘のため、複数の大学医局へ派遣要請を継続
 民間医療機関への医師派遣要請・人材派遣会社の活用を継続
 - 「医師の働き方改革」への対応
 医師事務作業補助者を増員し体制を充実
 - 看護体制の抜本的見直し
 2交代制を全面实施（労働組合に理解と協力を求める）
 2人夜勤の実施など夜勤体制を最適化（＃）
- 経営体制の構築
 - ガバナンス強化
 院長を中心とするガバナンス強化（明確な目標設定と進捗管理）
 事務職員のプロパー化を推進
 - ボトムアップの組織文化の醸成
 現場レベルでの改善活動・提案を実施し、積極的に採用
 - 収益増加策と費用削減策
 DPCコーディング精度を向上
 仕様等の見直しによる委託料の削減、材料費率の適正管理
- 一般会計による公費負担の適正化
 - 集中改革期間の資金的支援を実施（長期貸付金の貸付・返済猶予）

下水道事業会計 54億4,988万円

主な事業

- ・管路整備事業…………… 7,434万円
- ・管路施設改築更新事業…………… 2億4,322万円
- ・処理場・ポンプ場施設改築更新事業…………… 7億1,520万円

水道事業会計 37億8,752万円

主な事業

- ・基幹管路耐震化事業…………… 3億4,950万円
- ・配水管整備事業…………… 1億7,727万円
- ・配水施設整備事業…………… 1億9,202万円
- ・浄水施設整備事業…………… 9,006万円

令和2年度の上下水道事業は、上下水道ビジョンに基づき基幹管路の耐震化や下水道管路の整備などを行います。

【詳細】水道部総務課財務係 ☎ 385・1214

上下水道